

健康経営推進方針

1. 基本理念

当協会は、「県内すべての労働者の健康を支え、地域に信頼される労働衛生機関を目指す」という経営ビジョンのもと、職員一人ひとりの心身の健康保持増進を最重要の経営資源と位置づけます。

職員が健康で意欲的に働ける職場を実現することが、顧客事業所・地域社会への質の高い産業保健サービス提供につながると考え、健康経営を積極的に推進します。

2. 目的

- 職員の健康保持・増進を通じて組織の持続的発展を図る
- 健康経営をモデルとして地域企業へ普及・支援し、佐賀県全体の健康づくりに貢献する

3. 重点取組領域

1. 生活習慣病予防と健康管理

定期健診・特定保健指導を徹底し、疾病の早期発見・早期対応を推進します。

2. メンタルヘルスと職場環境

ストレスチェックや相談体制を整備し、誰もが安心して働ける職場環境を整えます。

3. 女性・多様な人材の健康支援

婦人科健診を奨励し、育児・介護と両立できる勤務制度を整え、多様な職員の活躍を支援します。

4. 人材育成とエンゲージメント

SmarterHR や 1on1 を活用し、職員が能力を発揮できる環境をつくれます。

5. DX による健康管理の高度化

Web 問診や健診データのクラウド化などを推進し、効率的かつ精度の高い健康管理を実現します。

4. 推進体制

- 理事長を推進責任者とし、総務部門を中心に全職員参加型で取り組みます。
- 健康経営の進捗は毎年度 KPI で評価し、中期経営計画に基づいて見直しを行います。
- 健康経営の成果や課題は、職員・顧客事業所・地域社会に対して透明性を持って公表します。

5. 宣言

当協会は、健康経営を単なる福利厚生施策ではなく「経営戦略」として推進し、職員と地域の健康を守ることを使命とします。

この方針に基づき、職員一人ひとりが健康でいきいきと働き、地域社会から信頼される労働衛生機関を目指します。